



新型コロナウイルス感染症 対 策 指 針

【学生・保護者用】
第 3 版

令和4年12月

鳥羽商船高等専門学校

目 次

第1章 「対応方針と体制」

1. 鳥羽商船高専における新型コロナウイルス感染症への対応方針と体制.....
2. 体調管理について.....
3. 家庭での感染防止対策について.....
4. 新型コロナウイルス感染症への感染又は感染疑いがある場合の報告について.....
5. 新型コロナウイルス感染症の対応フローチャート.....

第2章 「新しい生活様式の実践」

4. 学校生活における「新しい生活様式」ハンドブック.....
 - 1) 基本的な感染症対策の実施.....
 - 2) 集団感染のリスクへの対応.....
 - 3) 新しい生活様式の実践.....
 - 4) 感染リスクが高まる「鳥羽商船高専4つの場面」.....
 - 5) 登下校の仕方.....
 - 6) 学校内の基本事項.....
 - 7) 学校内の衛生管理等.....
 - 8) 部・同好会の学生会活動及び体育施設利用に関する基本指針.....

第1章

対応方針と体制

1. 鳥羽商船高専における新型コロナウイルス感染症への対応方針と体制

本校は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況に鑑み、学生及び教職員の安全確保を最優先するとともに、感染拡大を防止し、コロナ禍においても高等教育機関として社会的責任を果たすため、以下の対応を講じてまいります。

対応方針

【基本方針】

1. 学生・教職員の感染予防および感染拡大防止対策に万全を期し、健康被害を防ぐ。
2. 学生の教育への影響を最小限にとどめるため、通常授業の実施を基本とし、学生の安全が確保できないと判断される期間は遠隔授業を実施する。
3. 国、地方自治体等及び高専機構の方針および地域の感染状況等を踏まえ、柔軟に対応する。

【教職員の出勤時・勤務時・出張等における対応】

1. 教職員は出勤前に検温実施し、9時30分までにアプリへ入力する。強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）もしくは、発熱等の風邪症状がある場合には出勤を自粛する。
2. 教職員の同居者に、発熱が続くものがいる場合にも出勤を控える。
3. 出勤時、帰宅時の、手洗いまたはアルコール消毒、マスク着用を励行。
4. 出張する場合は、出張先の感染者情報に十分注意し、出張前後の自己体調管理をしっかり行う。
6. 海外出張を希望する場合は、申請前に校長に承諾を得ること。

【イベント等】

1. 本校主催の学生・保護者向けイベントは、感染対策を行った上で、開催することができる。
2. 学校外で実施されるセミナーやイベントへは、参加することができる。なお、参加者は各自で感染対策を行うこと。

体制

【危機対策本部】

1. 複数の感染者が発生した場合など、学校の閉鎖も考慮する必要があると判断される場合に校長が招集する。
2. 構成員は、鳥羽商船高等専門学校危機管理規則第8条による。

【リスク管理室】

1. 感染時フローなどの対応案について、リスク管理室長の要請に対して審議。
2. 構成員は、鳥羽商船高等専門学校危機管理規則第4条による。

リンク集

○鳥羽商船高等専門学校 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

<https://www.toba-cmt.ac.jp/covid-19/>

○三重県 新型コロナウイルス感染症特設サイト

<https://www.pref.mie.lg.jp/covid19.shtm>

○三重県検査キット配布・陽性者登録センター

<https://www.pref.mie.lg.jp/JOHOBUNSEKI/HP/m0352700014.htm>

○内閣官房 新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の対応について（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室特設サイト）

<https://corona.go.jp/>

○文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～

https://www.mext.go.jp/content/20220404-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf

○文部科学省 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生等への経済的支援一覧

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/benefit/index.html

○厚生労働省 新型コロナウイルス感染症情報特設ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2.体調管理について

体調管理に関するお願い

1. 毎日の検温と体調確認

- (1) 毎朝必ず体温を測定し、8時30分までに体調チェックアプリ（学生用）の項目を入力してください。
- (2) 登校前に発熱や咳、のどの痛みなどの風邪症状や普段とは異なる自覚症状がある時は登校せず、学校に連絡してください。（Forms 欠席等連絡フォームから連絡してください。）
- (3) 体調チェックアプリ（学生用）及び欠席等連絡フォームは、鳥羽商船高専の全学生向け情報共有 Team の各種申請フォームに掲載しています。

2. 登下校時及び校内

- (1) 熱中症に気を付けてマスクを着用し、会話をする時は2m（最低1m）以上距離をとってください。
- (2) 移動中は、ソーシャル・ディスタンスを確保してください。
- (3) 登校後及び昼食、休み時間に、手洗い、または消毒を励行してください。
- (4) 運動の際は、熱中症対策を優先し、マスクを外してください。

3. 体調不良の場合

- (1) 登校後、少しでも具合が悪いと感じたときは、近くにいる教員に連絡するか、保健室に電話連絡し、保健室前のフロアへ待機してください。
- (2) 保健室で「感染が疑われる症状」に該当すると判断された場合
 - ①保護者に連絡し、迎えを依頼してください。
 - ②帰宅時には、公共交通機関の利用は避けてください。
- (3) 学寮で体調不良を感じたときは、以下のとおり対応してください。
 - ①8：30～17：00の間は、寮事務室（0599-25-8035）に電話をしてください。
 - ②17：00～8：30の間は、当直室へ電話してください。
 - ・A棟と女子 0599-25-8043
 - ・B棟 0599-25-8046

朝から体調不良で学校を欠席する際、寮事務室への連絡が漏れていることがよくあるので、必ず寮事務室へ連絡してください。

4. 移動について

県内外を問わず、感染が流行している地域への往来は避けてください。

3. 家庭での感染防止対策について

家庭内で感染が広がると、学生から学校へと、さらに感染が広がる恐れもあります。家庭内に「持ち込まない」、「広げない」ため、家庭内でも基本的な感染防止対策を徹底し、少しでも体調に異変を感じた場合には、外出を控えるとともに、なるべく家庭内でも家族とは別室で過ごす、マスクを着用するなどの対策をとり、早期にかかりつけ医等に相談するよう、お願いします。

◆毎朝の検温、体調チェックをしましょう

◆こまめに手洗いをしましょう

◆定期的に換気をしましょう

◆ドアノブや電気スイッチなど、手で触れる家庭内の共有部分を消毒しましょう

◆体調が悪いときは家族と部屋を分けるか、別室が難しい場合は、2m以上の距離を保つようにしましょう

◆料理は大皿ではなく、個々に取り分けましょう

◆タオルやコップなどの共有は避けましょう

◆「十分な睡眠」、「適度な運動」、「栄養バランスのとれた食事」を心がけましょう

4. 新型コロナウイルス感染症への感染又は感染疑いがある場合の報告について

新型コロナウイルス感染症への感染又は感染疑いがある場合は、学校へ連絡してください。

平日 総務課総務係（0599-25-8013）

休日、夜分の場合は、次のフォームから入力してください。



陽性者用（学生）

<https://forms.office.com/r/C3xQ9wUb6n>



濃厚接触者用（学生）

<https://forms.office.com/r/ya3TfTLVUy>



陽性者用（教職員）

<https://forms.office.com/r/OBesLOMNQa>



濃厚接触者用（教職員）

<https://forms.office.com/r/CKYDSfkxQT>

5. 新型コロナウイルス感染症の対応フローチャート

<通学生用> 令和4年12月

発熱等の風邪症状の体調不良、 または濃厚接触者と認定された場合の対応フローチャート

【体調不良】

- ◎「欠席等連絡フォーム」により連絡する。
- ◎フォームで連絡できない場合は、担任又は学生課教務係（0599-25-8032）へ電話連絡する。

【濃厚接触】

- ◎濃厚接触の場合は「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触報告フォーム」により連絡する。
接触日を0日として、5日間自宅待機する。
- ◎フォームで連絡できない場合は、担任又は学生課教務係（0599-25-8032）へ電話連絡する。
※同居家族が陽性の場合、原則濃厚接触者になります。

- ◎医療機関を受診し、登校可能かどうか診断を受ける
又は
- ◎簡易抗原定性検査キット（研究用を除く）で自己検査
（陽性の場合、病院受診または、陽性者登録センターに登録してください。）

体調回復次第、登校
する

陰性の診断

陽性の診断

新型コロナウイルス感染症の陽性報告フォーム
から連絡すること。

【登校後に体調不良になったとき】

- ◎保健室（0599-25-8034）へ電話連絡する
↓
- ・保健室前フロアで待機し、看護師に相談する
↓
- ・保護者の迎えにより自宅にて療養する
↓
- ・帰宅後は、医療機関を受診する

【登校再開の条件】

- ◎発症日または検体採取日を0日目として7日間経過すれば、8日目に療養の解除となります。（症状軽快後24時間経過する必要があります。）
症状が軽快しない場合は、総務係に連絡ください。

登校後に特別公欠願を提出※保護者印が必要

※各種報告フォームは、Teamsの「[024]鳥羽商船・全校集会」の「各種申請フォーム」に掲載しています。



鳥羽商船高等専門学校

◆連絡先 お問い合わせ先

【総務課総務係】TEL：0599-25-8013 MAIL：soumu-soumu@toba-cmt.ac.jp

5. 新型コロナウイルス感染症の対応フローチャート

<教職員用> 令和4年12月

発熱等の風邪症状の体調不良、 または濃厚接触者と認定された場合の対応フローチャート

【体調不良】

◎総務課人事労務係（0599-25-8014）へ電話連絡する（※職務専念義務の免除）。

【濃厚接触】

◎濃厚接触の場合は接触日を0日として、5日間自宅待機する。

◎総務課人事労務係（0599-25-8014）へ電話連絡する（※職務専念義務の免除）。

※同居家族が陽性の場合、原則濃厚接触者になります。

◎医療機関を受診し、出勤可能かどうか診断を受ける
又は
◎簡易抗原定性検査キット（研究用を除く）で自己検査
（陽性の場合、病院受診または、陽性者登録センター
に登録してください。）

体調回復次第、
出勤する

陰性の診断

陽性の診断

新型コロナウイルス感染症の陽性報告フォームから
連絡すること。

【出勤後に体調不良になったとき】

◎上司及び人事労務係に報告し、
帰宅する（※職務専念義務の免除）

【出勤再開の条件】

◎発症日または検体採取日を0日目として7日間経過すれば、8日目に療養の解除となります。（症状軽快後24時間経過する必要があります。）

症状が軽快しない場合は、総務係に連絡ください。

※各種報告フォームは、Teamsの「[024 鳥羽_全教職員]」の「（教職員用）新型コロナ関連の報告フォーム」に掲載しています。



鳥羽商船高等専門学校

◆連絡先 お問合せ先

【総務課総務係】TEL：0599-25-8013 MAIL：soumu-soumu@toba-cmt.ac.jp

5. 新型コロナウイルス感染症の対応フローチャート

〈寮生用〉10月1日

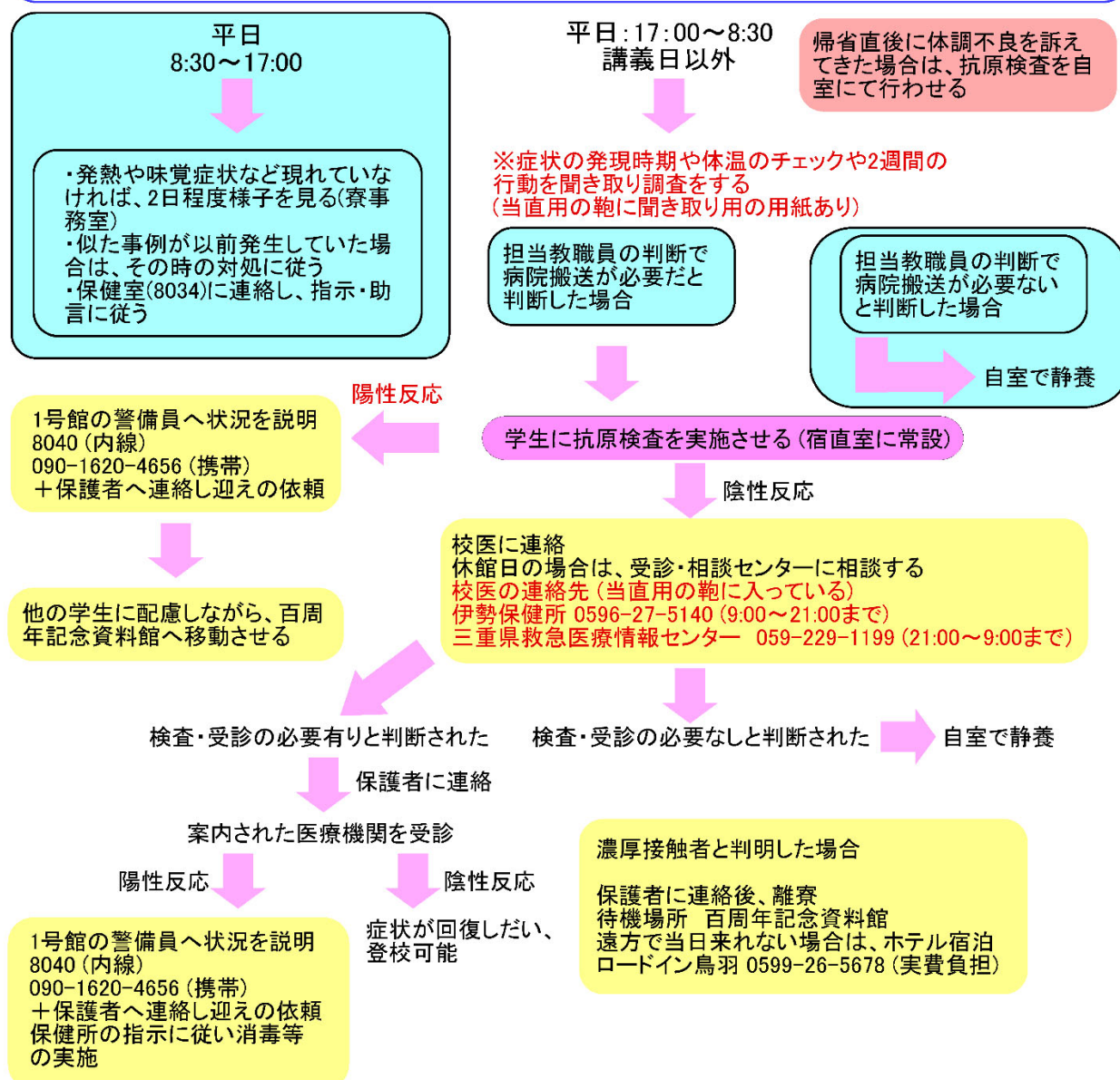
寮において発熱等の風邪症状や味覚・嗅覚に異常がある、
または濃厚接触者と認定された場合の対応フローチャート

【居室待機】 事務室0599-25-8035 A棟宿直室 0599-25-8043 B棟宿直室 0599-25-8046

◎朝は登校しないで、寮事務室に連絡する(17時から8時30分の間や休日は宿日直に連絡する)

(登校後に新型コロナウイルスに関する欠席は特別公欠願を提出※寮務主事印が必要)

風邪症状(発熱・喉頭痛・咳・倦怠感・呼吸困難等)、味覚障害、嗅覚障害いつもと違う症状の場合は、医療機関を受診してください。普通の風邪であっても医療機関を受診してください。公欠扱いになります。



鳥羽商船高等専門学校

◆連絡先 お問合せ先

【総務課総務係】 TEL : 0599-25-8013

MAIL : soumu-soumu@toba-cmt.ac.jp

第2章

新しい生活様式の実践

学生用

学校生活における「新しい生活様式」 ハンドブック (2022年7月)



鳥羽商船高等専門学校

自分の身は自分で守る！

本校は、今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組むとともに、皆さんが安全、安心に学生生活を送ることができるよう、学校全体でみなさんをサポートしていきます。皆さんも一人ひとりが、自分自身を、そして自分の大切な人を守るために、意識と行動を変え、これまで取り組んできた感染予防策を「新しい生活様式」として、日常生活及び学校生活のなかに定着させていく必要があります。

そこで、鳥羽商船高専では、2020年7月に作成した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止のための『学校生活における「新しい生活様式」ハンドブック』の見直しを行いました。

本ハンドブックを参考に、「新しい生活様式」の定着に向けて、ご協力をお願いします。

最後に、本ハンドブックは、2022年7月時点での知見に基づき作成したものです。今後、状況が変わった場合は、随時見直しを行います。

1. 基本的な感染症対策の実施

感染症対策の3つのポイントを踏まえ、取り組みを行ってください。

- ① 感染源を断つこと
- ② 感染経路を断つこと
- ③ 抵抗力を高めること

① 感染源を断つこと

- 毎日、検温及び風邪の症状を確認してください。

② 感染経路を断つこと

新型コロナウイルス感染症は、一般的に飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。感染経路を断つためには、①手洗い、②清掃・消毒、③咳エチケットが大切です。

- こまめに手洗いと手指消毒をしてください。

◆手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗ってください。石けんやアルコールを含んだ手指消毒薬に過敏に反応したり、手荒れの心配があったりするような場合は、流水でしっかり洗いましょう。



（参考文献）森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

手洗いの6つのタイミング

外から教室に入るとき



咳やくしゃみ、鼻を
かんだとき



昼食の前後



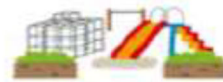
掃除の後



トイレの後

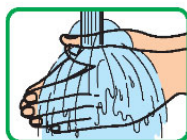


共有のものを
触ったとき



●感染予防には手洗いが大切です！

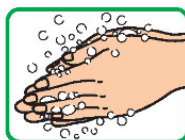
手洗い手順（泡石けん液）



① まず手指を
流水でぬらす



② 泡せっけん液を適量
手の平に取り出す



③ 手の平と手の平を
擦り合わせよく泡立てる



④ 手の甲をもう片方の
手の平でもみ洗う（両手）



⑤ 指を組んで 両手の
指の間をもみ洗う



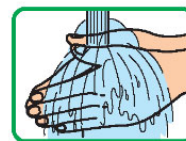
⑥ 親指をもう片方の
手で包み もみ洗う（両手）



⑦ 指先をもう片方の
手の平でもみ洗う（両手）



⑧ 両手首まで
ていねいに もみ洗う



⑨ 流水でよくすすぐ



⑩ ペーパータオルで
よく水気を拭き取る

★手洗いのポイント

- ・手洗いは時間をかけて行いましょう。しっかり泡立てることで、手全体のしわなどに石けんが付きまします。
- ・指先、指の間、爪の間は洗ったつもりでも洗えていない場合が多いです。右の図を参考に意識して洗いましょう。
- ・手首までしっかり洗うことも大切です。
- ・ペーパータオルなどでしっかり乾燥させましょう。
- ハッピーバースデーの曲を石けんをつけてから2回、洗い流す時に1回歌い終わるくらいの時間をかけて手洗いしましょう。



手指消毒は正しい方法で



□ 清掃・消毒

◆消毒は、感染源であるウイルスを死滅させ、減少させる効果はありますが、学校生活の中で消毒によりウイルスをすべて死滅させることは困難です。このため一時的な消毒の効果を期待するよりも、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により免疫力を高め、手洗いを徹底しましょう。

◆共用の器具・用具や清掃道具の使用の前後で手洗いを行いましょう。

※令和3年4月1日に以下の箇所において、キノシールド（光触媒抗菌）施行を実施しました。

【施工箇所】

- ・1号館（教室ドアノブ、階段手摺）
- ・2号館（教室ドアノブ、階段手摺、エレベーター）
- ・3号館（教室ドアノブ、階段手摺、エレベーター）
- ・4号館（教室ドアノブ、階段手摺、エレベーター）
- ・記念資料館（ドアノブ、階段手摺）
- ・潮騒会館（ドアノブ、階段手摺）
- ・図書館（ドアノブ、階段手摺）
- ・第一体育館（ドアノブ）
- ・第二体育館（ドアノブ）
- ・暁寮A棟・B棟（洗面所、階段手摺）

◆咳エチケットとは、感染症を他所に感染させないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻を抑えることです。

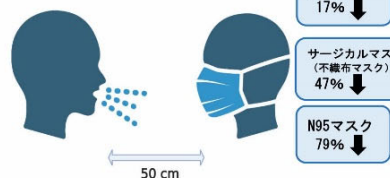
マスクの正しいつけ方を学ぼう



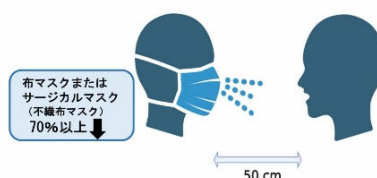
○マスクの効果

東京大学医科学研究所のデータを基に内閣官房作成

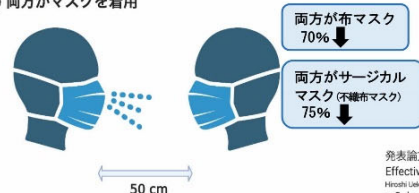
① 聞き手だけがマスク着用



② 話し手だけがマスク着用



③ 両方がマスクを着用



みんながマスクを
することが大切

発表論文
Effectiveness of Face Masks in Preventing Airborne Transmission of SARS-CoV-2
Hiroshi Ueki, Yuri Furusawa, Kiyoko Inatsuka-Horimoto, Masaki Imai, Hiroki Kubota, Hirotaka Nishimura, Yoshihiro Kawada
mSphere 2020. DOI: 10.1128/mSphere.00637-20

③ 抵抗力を高めること

- ☐ 免疫力を高めるため、「十分な睡眠」、「適度な運動」、「栄養バランスのとれた食事」を心がけてください。

2. 集団感染のリスクへの対応

新型コロナウイルス感染症では、

- ◆換気の悪い密閉空間
- ◆多数が集まる密集場所
- ◆間近で会話や発生する密接場面

という3つの条件（3つの密（密閉、密集、密接））が重なる場で、集団感染のリスクが高まるとされています。この3つの条件が同時に重なる場を避けることはもちろんですが、3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限りそれぞれの密を避けましょう。また、「3密」と「大声」の環境においては、「飛沫感染」や「接触感染」に加えて、「マイクロ飛沫感染」が起こりやすいため、「3密」を避けるとともに、「大声」での会話にも注意しましょう。

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

3. 感染リスクが高まる「鳥羽商船高専4つの場面」

これまでの感染拡大の知見から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。以下の感染リスクが高まる「鳥羽商船高専4つの場面」に注意し、生活しましょう。

場面① 廊下で密集しての移動

- ◆いつでも、どこでも、だれとでも、人と人との距離は1m～2mとりましょう。
- ◆大声での会話は、飛沫が飛びやすくなり、感染リスクが高まるため、控えましょう。
- ◆廊下の移動中もマスクを着用しましょう。

場面② マスクなしでの会話

- ◆近距離でのマスクなしの会話は、飛沫感染のリスクが高まるため、避けましょう。
- ◆車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。

場面③ 狭い空間での共同生活

- ◆寮の部屋やトイレなど、狭い空間での共同生活は、閉鎖空間が長時間共有されるため、感染リスクが高まります。マスク着用、身体的距離（1m～2m）、換気を励行し、大声での会話は控えましょう。

場面④ 居場所の切り替わり

- ◆食堂（潮騒会館、寮食堂）での昼食時や更衣室での着替え時など、休憩時間に入り、居場所が切り替わると、気の緩みや環境変化で感染リスクが高まることもあるため、マスク着用、身体的距離（1m～2m）、換気を励行し、大声での会話は控えましょう。

4. 登下校の仕方

【登校前】

- ☐ 毎朝の検温及び風邪の症状を確認してください。
→毎日朝8時30分までに検温をし、体調チェックアプリ（学生用）の項目を入力してください。
- *登校前に、発熱、咳、喉の痛みなどの風邪の症状や、味覚・嗅覚に異常がある場合や同居家族に風邪症状がみられ、登校することに不安を感じる場合には登校せず、学校に連絡して、欠席してください。

【欠席の連絡】いずれかの方法で欠席の連絡を行ってください。

①欠席フォームアプリによる連絡

②学生課教務係（0599-25-8032）へ電話連絡

※なるべく①で連絡してください。

※体調チェックアプリ（学生用）及び欠席等連絡フォームは、鳥羽商船高専の全学生向け情報共有 Team の各種申請フォームに掲載

◆新型コロナウイルスに関する欠席（風邪症状等を含む）の場合は、特別公欠届を教務係へ提出することで、「欠席日数」とせずに「公欠（出席停止）」として取り扱います。

◆発熱や風邪症状等で欠席する場合は、必ず医療機関を受診し、登校可能と判断されてから登校してください（特別公欠願へも病院名等記載）。

◆登校後に体調不良となった場合、すぐに授業担当教員や担任、保健室（電話：0599-25-8034）に相談してください。通学生に関しては、無理せず早めの早退をお願いします。寮生に関しては、担任または寮事務室に確実に連絡を取ってから寮の自分の個室に戻って静養してください。
※症状が回復した後も、学生自身で登校を決めるのではなく、保護者や必要に応じて係りつけ医に相談する等し、静養する期間を決定してください。

- ☐ 登校時の持ち物を確認してください。
 - ・ハンカチ ・ティッシュ ・マスク ・マスクを置く際の清潔なビニールや布
- *換気を行うため、上着を持参するなど、各自で温度調節を行ってください。

【登下校時】

- ☐ 家を出るときは、マスクを着用してください。
- ☐ 登下校時、増便のバスが運行されている場合は、利用してください。

【学校到着時】

- ☐ 登校後、手洗いまたは手指消毒を行ってください。
- ☐ 教室に入ったら、可能な限り対面しての会話は控え、人との距離を1～2mとりましょう。
- ☐ 窓を開けたり、換気扇を稼働させたりして換気しましょう。

5. 学校内の基本事項

- ☐ 食事や水分補給、運動等以外は、症状がなくてもマスクを着用してください。
(但し、熱中症の危険がある場合、外してもよい。)
- ☐ こまめに手洗い、または手指消毒を行ってください。
*学校内の多くの場所に消毒用のアルコールを設置しています。
- ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。
- ☐ 登校後、体調不良がある場合には、電話連絡(0599-25-8034)した上で保健室前フロアに行き、看護師に申し出てください。
*学校の指示に従い、速やかに保護者の迎えにより帰宅してください。

【授業中】

- ☐ 気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する)、2方向(窓、出入口)を同時に開けて行ってください。
 - ◆窓を開ける幅は10cmから20cm程度を目安とします。上の小窓や廊下側の欄間を全開にするなどの工夫も行いましょう。
 - ◆天候により、雨が室内に吹き込む場合や実験に支障がある場合等は適宜、窓の開け具合を調整する等し、場合によっては閉めても構いません。
 - ◆ロスナイ換気が可能であれば常時「入」にしておくようにしてください。
 - ◆1日の最後の授業後に窓を閉めてください。



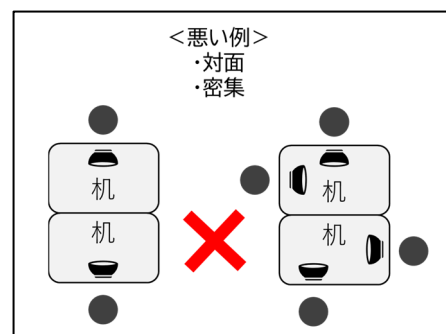
- ☐ 討議が必要な場合は、対面しながらの会話を控えて下さい。
- ☐ 授業中の学習活動については、各科目担当の先生の指示に従ってください。

【休み時間】

- ☐ 授業する場所が変わる場合やトイレ等で教室から離れる場合は、こまめに手洗いまたは手指消毒を行ってください。
- ☐ ロッカーや更衣室等を使用する場合は、密集しないよう気を付けてください。

【昼休み・昼食時間(教室)】

- ☐ 食事前は、手洗いまたは手指消毒を行ってください。
- ☐ 教室の換気を徹底してください。
- ☐ 食事時も机の位置を動かさないようにしてください。
- ☐ 食事中は対面にならないよう気を付けてください。
- ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面は避けてください。
- ☐ 空き教室での飲食や会話をする際も、マスク着用、身体的距離(1~2m)、換気を徹底してください。



【食堂・売店】

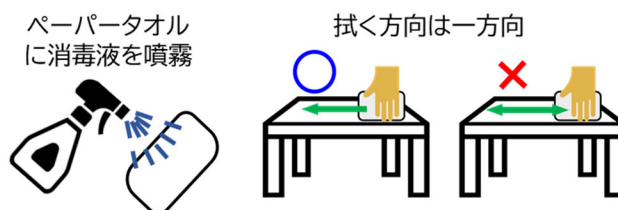
潮騒食堂の利用は、登校および面接授業への参加が認められている学生に限ります。

- ☐ 食堂への入退室時に、手指消毒を行ってください。
- ☐ 食堂内では、マスクを着用し、必要のない会話はしないでください。
- ☐ 列に並ぶ時は前の人との距離をとってください。
- ☐ 利用する席の消毒は、利用者が、利用の前後に、食堂に設置されている消毒用具で行ってください。
- ☐ 机、椅子、衝立は、対面で食事をしないように設置していますので、移動させないでください。

6. 学校内の衛生管理等

【昼及び放課後の消毒作業】

- ☐ お昼の指定された時間と放課後に教室の机とドアノブ等の消毒と換気を行ってください。



※教室の清掃は通常どおり担任の指示に従ってください。

※各教室や廊下など学内に設置している消毒液や清掃用具は学校の備品です。学生の皆さんが共用する物なので持ち帰ったり、いたずらをしたりせず大切に使用してください。

消毒液：使用上の注意

- ・製品に記載されている「使用上の注意」をよく読んでから使用してください。
- ・作業中は必ず換気をしてください。

消毒用アルコール

- ・アルコール（エタノール）は引火性が強いので、下記に十分注意し、狭い場所で一度に長時間の作業は避けてください。静電気の火花にも注意してください。
- ・アルコール（エタノール）は清拭面（拭き上げ面）が変色する可能性があるため、作業前に目立たない所で確認すると良いです。

【放課後】

授業等が終わったら、必要以上に教室に残らず速やかに帰宅してください。

部・同好会の学生会活動及び体育施設利用に関する基本指針

1. 参加するための条件

登校および面接授業への参加が認められている学生に限ります。

2. 準備

(1) 体調確認

学校が指示する健康チェックを行い、新型コロナウイルス感染症の症状がないことを確認して下さい。

(2) 準備

マスク、タオル、給水ボトル（飲料）は、自分のものを用意してください。また、共用は絶対に行わないでください。

3. 活動

(1) 感染防止

密接対策：換気扇・サーキュレーターの利用や、窓の解放（30分に1回5分以上）などにより、換気を行ってください。

密集対策：互いの距離を、1～2m程度空けてください。

密接対策：対面による活動、近距離での会話や発声を可能な限り避けてください。対面での会話をできるだけ避け、やむを得ない場合はマスクを着用してください。

手指消毒：手洗い、アルコール消毒を行うようにしてください。

(2) 活動方法

活動の方法は、所属競技団体の新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに従って下さい。

唾や痰はティッシュなどに吐き、必ずゴミ箱に捨てて下さい。

(3) トレーニングルーム

密にならないように10人以内で使用してください。使用人数がこれより多い場合は、入れ替え制等で対応してください。ただし、ひとりでの使用は危険防止のため禁止とします。

トレーニング器具は使用後、消毒してください。ベンチプレスの補助をする学生はマスクを着用してください。

(4) 更衣室・シャワールーム

他人との距離は1～2m程度確保し、大人数での使用は避け、同時使用は3名までとしてください。更衣室のドアノブの消毒を行ってください。シャワールーム利用後、水で流し清掃を行ってください。

(5) ゴミ

活動中に発生したゴミは、施設のゴミ箱に捨ててください。飲みきれなかったスポーツドリンク等は洗面所、トイレに捨ててください。

(6) 清掃

利用した施設・設備など共有物の清掃と消毒は、利用者が行ってください。
ドアノブをアルコール消毒してください。第一体育館、第二体育館、剣道場、柔道場、
トレーニングルームについては、施設利用後、モップ掛けをしてください。

4. 活動記録

部・同好会の活動参加者を把握するため、活動参加者は Web で活動記録を提出してください。(感染者発生時の濃厚接触者への連絡、および消毒範囲の決定に利用します。)

5. 泊を伴う活動

泊を伴う活動は、新型コロナウイルス感染症に関わる活動制限の指示が無い場合において可とします。
また、事前に、学生が新型コロナウイルス感染症の検査対象となった場合の搬送手段を確保して下さい。

6. アルコールの管理・補充

部・同好会に配布した消毒用アルコールの容器の管理は、部・同好会で行って下さい。アルコールの補充は、学生課学生生活係で行って下さい。

7. 注意事項

マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができずに人体に影響を及ぼす可能性がありますので注意して下さい。